

## 平成 27 年度 感染症予防衛生講習会(県民公開講座) の開催

平成 27 年度感染症予防衛生講習会が平成 27 年 6 月 24 日(水)午後 1 時 30 分から、新潟市民プラザ(NEXT 2 1)で開催されました。この講習会は平成 17 年から開催しており、今年で 11 回目となります。(一社)新潟県ペストコントロール協会、新潟県、新潟市の主催、(公社)新潟県獣医師会の共催で、県、市町村、教育関係、福祉施設、食品事業者のほか、一般県民に広く受講していただくため、県民公開講座として 100 人以上の方から参加をいただきました。

今年の講習会は、お二人の講師から御講演をいただきました。

講演 I では、(公社)日本ペストコントロール協会会長、農学博士の平尾素一先生から、「最近話題の虫が媒介する感染症ーデング熱、SFTSー」と題して御講演をいただきました。

昨年、約 70 年ぶりに国内感染が確認されたデング熱を、病原ウイルスを媒介する蚊・ヒトスジシマカの発生機序、生態、吸血のシステム、蚊の発生防止策等蚊の視点からのお話や、昨年感染場所となった、代々木公園におけるペストコントロール協会の対応等をわかりやすく丁寧な説明がありました。また、昨年、マダニが媒介する感染症で話題となった、SFTS(重症熱性血小板減少症)の紹介から、マダニの生活環、国内の分布状況、調査方法や、山において腕や足を出さない服装などマダニから身を守る方法等、個人で行う予防方法のお話をいただき、今更ながら、衛生害虫の防除対策が重要であると痛感しました。

講演 II では、国内のノロウイルス研究の第一人者で、(一社)新潟県環境衛生中央研究所理事、医学博士の西川眞先生から、「保菌者がいる中で、病原体の拡散を防ぐ」と題して御講演をいただきました。

西川先生からは、ノロウイルス感染の「より濃厚な感染源」「感染の予防策の優先順位」「検便成績をどう生かす」の視点から、ノロウイルス感染の予防対応策について講演をいただきました。原因はどこにあって、どの方法・経路で体内に入ることによって感染するのか、また、予防対策として、実際の病原体伝播等を考慮して、感染の接点・経路の遮断等リスクを減らすことが大切とお話をいただきました。また、保育園、幼稚園、小学校等集団生活をしている現場における対応等、特に事前に提出されていた質問に対して丁寧な回答もいただき、聴講者の皆さんも大変有意義な講演だったと思います。さらに韓国で流行している MERS についても最新情報、予防対策等具体的なお話もいただきました。

衛生害虫の防除や感染症予防については、社会的にも注目されており、講習会終了後のアンケートにおいても、「蚊が人にとって最も危険な生物であることがわかった」「デング熱対策の状況がわかり参考になった」「日常気をつけることが具体的に理解することができた」「感染症予防の要点がわかった」などの感想をいただき、次回の講習会にも参加したいという声が多く聞かれています。来年度も、より拡充した内容での開催が期待されるところです。

